

農業振興(経営)に関するアンケート 調査結果

【現在の農業経営の状況について】

問1 あなたの経営についてお聞かせください。

年齢	4 30歳代	7 40歳代	21 50歳代	65 60歳代
	60 70歳代	18 80歳代	3 90歳代	
性別	172 男性	13 女性		
経営種類	77 専業農家	55 兼業農家	2 法人構成員	40 農業をしていない
農業従事者数	8 0人	32 1人	49 2人	32 3人
	10 4人	11 5人	11 それ以上	
雇用者	8 0人	4 1人	3 2人	3 その他

問2 あなた耕作している農地の面積をお聞かせください。

18 0.5 ha 未満	14 0.5 ha 以上 1 ha 未満
27 1 ha 以上 2 ha 未満	28 2 ha 以上 3 ha 未満
27 3 ha 以上 5 ha 未満	23 5 ha 以上 10 ha 未満
11 10 ha 以上 15 ha 未満	5 15 ha 以上

問3 あなたが生産している作物をお聞かせください。(当てはまるもの全てに○)

134 水稻	16 そば・麦類	18 雑穀・豆類
30 いも類	80 野菜	12 果実
2 種苗・苗木	2 畜産・養豚	1 栽培きのこ

6 その他

- ・アスパラガス
- ・筍
- ・農産物加工品
- ・ホップ

問4 あなたは農作物について現在どのような出荷販売を行っていますか。(複数回答可)

102 農協に出荷
12 朝市や直売所、スーパーで販売
6 卸売市場に出荷
4 直接、食品加工場や加工会社などと契約し出荷
22 自家消費や近所・親戚に無料で配る

4 その他

- ・米の販売業者に出荷
- ・商系販売
- ・直接消費者に販売

問5 今後、拡大していきたい品目はありますか。(複数回答可)

- | | | | | | |
|-----------------------------|-----|--|------|----------------------------|------|
| <input type="checkbox"/> 29 | 水稻 | <input type="checkbox"/> 4 | 施設園芸 | <input type="checkbox"/> 9 | 露地野菜 |
| <input type="checkbox"/> 3 | 大豆 | <input type="checkbox"/> 4 | そば | <input type="checkbox"/> 3 | 果樹 |
| <input type="checkbox"/> 2 | その他 | <ul style="list-style-type: none">・花卉・ハウスアスパラガス | | | |

【将来の農業経営の意向について】

問6 あなたは、自分の農業経営を将来どのようにしたいと考えていますか。
また、その時期はいつ頃を予定していますか。

- | | | | | | | | | | |
|-----------------------------|--------------|---|-------|----------------------------|-------|----------------------------|--------|----------------------------|-----|
| <input type="checkbox"/> 20 | 経営面積を拡大したい ⇒ | <input type="checkbox"/> 9 | 1~3年後 | <input type="checkbox"/> 4 | 5年ほど先 | <input type="checkbox"/> 0 | 10年ほど先 | <input type="checkbox"/> 5 | 未定) |
| <input type="checkbox"/> 16 | 経営面積を縮小したい ⇒ | <input type="checkbox"/> 4 | 1~3年後 | <input type="checkbox"/> 7 | 5年ほど先 | <input type="checkbox"/> 2 | 10年ほど先 | <input type="checkbox"/> 0 | 未定) |
| <input type="checkbox"/> 30 | 離農したい ⇒ | <input type="checkbox"/> 5 | 1~3年後 | <input type="checkbox"/> 2 | 5年ほど先 | <input type="checkbox"/> 2 | 10年ほど先 | <input type="checkbox"/> 2 | 未定) |
| <input type="checkbox"/> 69 | 現状維持 | | | | | | | | |
| <input type="checkbox"/> 26 | わからない | | | | | | | | |
| <input type="checkbox"/> 8 | その他 | <ul style="list-style-type: none">・経営規模(施設等)の拡大・農業は自分の代で終了と考えている・定年後検討・法人構成に取り組んでもらいたい | | | | | | | |

問7 あなたが農業経営で困っていることについてお答えください。(複数回答可 5つまで)

- | | | | | |
|------------------------------|----------------------------|--|--|--|
| <input type="checkbox"/> 93 | 後継者がいない | | | |
| <input type="checkbox"/> 101 | 農産物の価格が不安定・低価格である | | | |
| <input type="checkbox"/> 37 | 農繁期の労働力の確保が困難である | | | |
| <input type="checkbox"/> 40 | 離農・規模を縮小したいが、農地の借り手・買い手がない | | | |
| <input type="checkbox"/> 0 | 規模を拡大したいが、農地の貸し手・売り手がない | | | |
| <input type="checkbox"/> 18 | 有害鳥獣による農作物への被害がある | | | |
| <input type="checkbox"/> 7 | 技術や経営について相談できる人がいない | | | |
| <input type="checkbox"/> 1 | 相続により農地の分散化・分割化が進んでいる | | | |
| <input type="checkbox"/> 7 | その他 | <ul style="list-style-type: none">・作物を作らないと草対策が大変・農業用施設を建てる土地と資金がない・機械、設備の更新がままならない・有害鳥獣による被害・米の一本足の経営から脱却しなければならないが、米以外の産地品目が弱い | | |

【農業施策について】

問8 田上町の農業施策について要望することをお答えください。(複数回答可 3つまで)

- | | | | |
|-----------|----------------------------------|--|---------------|
| 80 | 担い手への対策 | | |
| 69 | 経営体への対策(農業機械や施設等に対するハード支援) | | |
| 9 | 経営体への対策(簿記や青色申告等の経営力向上に対するソフト支援) | | |
| 17 | 農産物の栽培技術向上対策 | 11 | 有害鳥獣による被害への対策 |
| 29 | 田上産農産物のPR対策 | 10 | 地産地消や食育への対策 |
| 1 | 都市と農村の交流の対策 | 9 | 農産物の加工品への対策 |
| 15 | 農福連携の対策(農業部門の人手不足解消と福祉部門の働く場の確保) | | |
| 3 | 農村景観形成への対策 | | |
| 9 | その他 | <ul style="list-style-type: none">・自立への支援・現状のままでよい・離農したいが拡大したい農家へ仲介してもらえないか・これといった特産品がある町でないので、JAと協力して梅の加工品や味噌づくりなど目玉商品の開発をしてはどうか・受け皿となり得る生産法人や会社等の設立の働きかけ | |

【担い手について】

問9 現在または近い将来、担い手となる農業後継者はいますか。

- 29** いる ⇒ 後継者の年代をお答えください。
- | | | | | |
|---------------|---------------|----------------|----------------|---------------|
| 1 10歳代 | 1 20歳代 | 12 30歳代 | 10 40歳代 | 5 50歳代 |
|---------------|---------------|----------------|----------------|---------------|
- 125** いない

問10 担い手確保や育成に必要だと思うものをお答えください。
(優先度の高い順に3つまで選び番号を記入)

- | | | | |
|-----------|----------------------|--|--|
| 68 | 新規就農者への支援 | | |
| 62 | 農業後継者やU・I・Jターン者への支援 | | |
| 65 | 農作業受委託の組織化 | | |
| 61 | 集落内農家の組織化(集落営農など)の推進 | | |
| 24 | 農業技術指導の向上 | | |
| 31 | 農業者への融資制度の充実 | | |
| 38 | 企業的な経営手法の指導や法人化の推進 | | |
| 3 | その他 | <ul style="list-style-type: none">・販売支援(収入を確保できるようになれば担い手は増える)・生産調整の年々拡大と生産資源の高騰でこれから先真っ暗・水稻での新規就農は難しい。非農家からでも農業に参入しやすいように、園芸品目の強化と、新規就農者の受入れ体制を整える・消費人口の増加 | |

問11 農業ボランティアについて、どのようなお考えをお持ちですか。

※農業ボランティアとは、野菜作りや園芸を学びたい、健康づくりをしたい、と考えている方から登録してもらい、労働力が不足している農家の農作業の手伝いを有償または無償で手伝っていただく制度です。

35 興味がある ⇒ 問12へ

110 特に興味がない。

問12 興味があるとお答えの方にお聞きします。それはどのような理由からですか。

17 農繁期にどうしても人手が不足するため

10 高齢化や後継者不足により通年で人手が不足するため

9 農作業のうち、軽作業をボランティアにお願いするなどして経営規模拡大を図りたいため

【その他】

問13 県及び町で園芸振興を図るため、皆様にお聞きします。

参考となる具体的な事例(市町村等)や今後、取り組みを図るべき品目がありましたらご記入ください。(既に取り組んでいる品目の拡大も含みます)

- ・枝豆：十日町、弥彦村 小麦：潟東、弥彦村が二毛作
- ・玉ねぎ：JA越後中央、JA柏崎
- ・西洋なし、ブドウなどの果樹類
- ・新発田市のイチゴ、新潟市西区のさつまいも(いもジェンヌ)
- ・見附市のニラ
- ・長ネギの拡大
- ・有害鳥獣被害の防止対策
- ・果樹の経営継承

問14 その他、ご意見等ありましたら、ご記入をお願いします。

- ・原点にあるのは作ってもお金にならない。どうやって作るかではなく、どうやって売るかを考えるべき
- ・JAが主体となる大きな生産法人を立ち上げる
- ・三条市の「ただいまーと」を模範にしての取組改善
- ・農家以外の民間企業の農業参入を推進する
- ・農業外から機械にのりたい若手を募ってオペ集団の育成し、有償で働いてもらう
- ・鳥獣被害防止対策の強化、山林等整備に機械の貸出し等の支援、雑木の伐採等の支援
- ・加工場を利用して代用肉大豆ミートの生産を行って見たらどうか